

# ★ 2018年5月20日(日) ～あの洋楽の大ヒットナンバーをクラシカルに楽しむ～ 1966カルテット REBORN

クラシックのテクニックをベースに、洋楽アーティストのカバーをする女性カルテット「1966カルテット」の皆さんにお越しいただきました。当エスポワールホールには3年ぶり3度目のご出演です。

第一部はビートルズの「抱きしめたい」からスタートし、「ノルウェーの森」「レット・イット・ビー」「イエスタデイ」など、ビートルズファンならずとも一度は耳にしたことがある、数々の名曲を絶妙なアレンジでお送りいただきました。第一部後半は、今年生誕60周年を迎える、マイケル・ジャクソンのヒットナンバー「スリラー」「ビリー・ジーン」や「ウィ・アー・ザ・ワールド」などをダイナミックに演奏していただきました。

そして第一部の最後には、1966カルテットが所属する高嶋音楽事務所の代表であり、ビートルズの初代プロデューサーでもある高嶋弘之氏にご登場いただき、ビートルズ来日当時のエピソードや、ご持参いただいた貴重なコレクションについてお話していただきました。

第二部はクイーン「ボーン・トゥ・ラブ・ユー」のロック・スピリッツ溢れる鮮烈なパフォーマンスで幕を開けました。エリック・クラプトンの「レイラ」、レッド・ツェッペリン「天国への階段」と続き、そしてコンサートの最後はやはりビートルズ。「ヘルプ！」や「ハード・デイズ・ナイト」などを披露していただき、第二部最後は「ヘイ・ジュード」で幕を閉じました。

クラシックの枠に囚われず幅広いジャンルにチャレンジし、独自の世界観を確立させ活躍の場を広げる1966カルテットからますます目が離せません。



松浦梨沙さん

田中葵さん



林はるかさん

花井悠希さん



高嶋弘之氏

